

令和7年度 ミニ・キエーロモニター事業の実施結果

1 事業概要

土の中の微生物の力で生ごみを分解・消失する生ごみ分解処理容器「ミニ・キエーロ」を使用し、その有効性・課題を検証するとともに、家庭から排出される生ごみ減量の取り組みを普及推進するものです。市内の110世帯で実際にミニ・キエーロを使用していただき、使用実績についてアンケート調査を実施しました。

調査期間: 令和7年8月1日～31日 回答数: 98

2 実施結果

(1) 処理状況

ミニ・キエーロでの生ごみ処理について、「うまくいっている」が81件、「うまくいっていない」が17件であり、約8割がうまくいっているとの回答でした。

うまくいっていない理由については、「分解しない」、「手間がかかる」が最も多く6件、「虫がわく」が2件、でした。

近年の夏は特に猛暑が続き、土が乾きやすく水分不足で分解に時間がかかった可能性も考えられます。

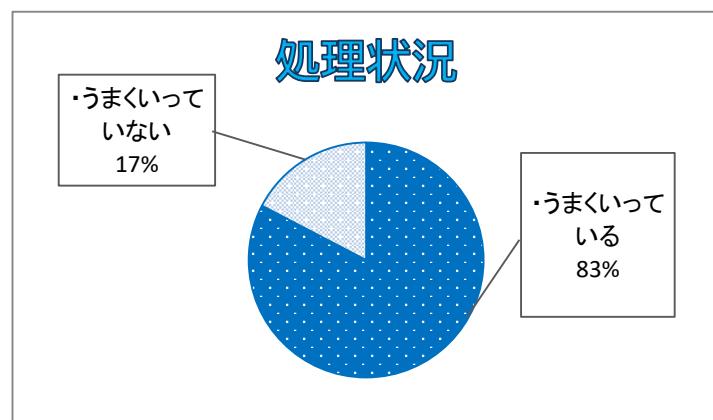
処理状況

・うまくいっている	81
・うまくいっていない	17

うまくいっていない理由

・分解しない	6
・手間がかかる	6
・臭いが出る	1
・虫がわく	2
・その他	1

※複数回答あり



(2) 投入量・頻度

全モニター世帯の生ごみ投入量は、8月の1か月で合計約250kgであり、1回あたりの平均投入量は約202gでした。

投入頻度は「2～3日に1回」が最も多く36件、次いで「ほぼ毎日」が30件であり、平均投入頻度は2.5日に1回(月に換算すると13回程度)でした。

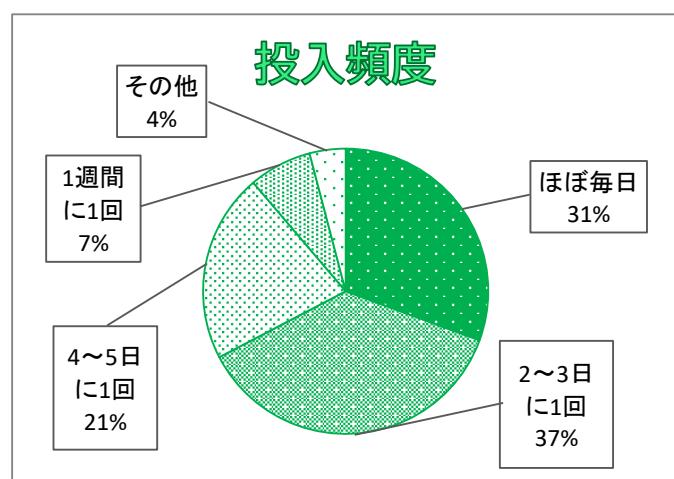
上記から、ミニ・キエーロを活用することで、1世帯あたりひと月約2.6kgの生ごみ削減が見込まれます。

投入量実績(8月)

投入量合計(g)	250,291
平均投入量(g/回)	202

投入頻度

ほぼ毎日	30
2～3日に1回	36
4～5日に1回	21
1週間に1回	7
その他	4



(3) 投入された主な生ごみ

野菜くず(皮、芯、へた)、果物の皮、お茶(麦茶)がら、コーヒーかす、卵の殻、ご飯、麺類、肉の脂身、調理油、煮物やラーメンの汁、魚のあら(頭、骨、皮、内臓) 古くなった米ぬか、ヨーグルトなど

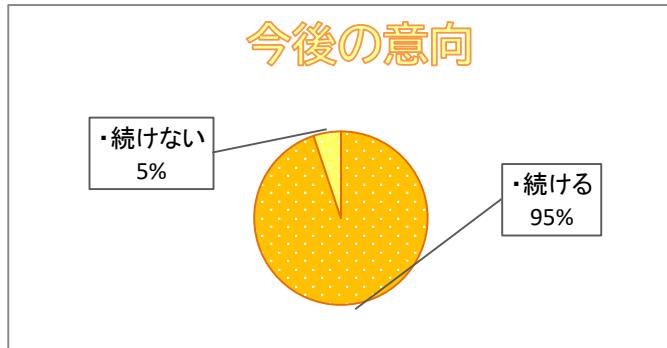
※下線を引いたものは分解されにくい又は分解されない

(4) 今後の意向

ミニ・キエーロでの生ごみ処理について、「続ける意向である」が93件、「続けない」が5件であり、9割以上が今後も利用を続けるとの回答でした。

(1)で「うまくいっていない」と回答した世帯でも、「続ける意向である」との回答を多くいただきました。また、ミニ・キエーロでは容量が足りないと感じた世帯の中には、同様の容器を自作している世帯もありました。

今後の意向	
・続ける	93
・続けない	5



【うまくいった点や工夫した点の意見】

- ・野菜が分解されて消えるのは予想出来たが、いわしが無くなったのはびっくりした。
- ・めんどくさいと感じる時もあるが「ごみを減らし、良い事をしているんだ!」と思うと気持ちよくなる気がした。
- ・千葉市の補助金制度を利用し生ごみを乾燥させる機械の購入も検討したいと思った。
- ・ミニ・キエーロを知らなかった家族におすすめしたところ好評だった。
- ・ミズアブが寄って来たのでオニヤンマの模型を近くにぶら下げたら、来なくなった。
- ・細かく刻んだ場合とそのままの場合で分解のスピードが格段に違ったのが驚きだった。
- ・好き嫌いリストで分解できるものとできないものがわかつてよかったです。
- ・夏のごみのにおいが気になっていたが今年は大丈夫だった。
- ・ミニ・キエーロに入らない分は小さい畑にも入れた。等

【問題点を感じた意見】

- ・生ごみが多く出る世帯では毎日続けることが難しいと感じた。
- ・魚の骨をいれてみたけどダメだった。ちょっとだけ臭くて虫がわいた。
- ・玉子の殻が分解しづらいような気がした。
- ・少量の土で始めたら虫が湧いてしまった。熱湯をかけ腐葉をかけ対策した。

3 実施結果から考えられる、ミニ・キエーロをトラブルなく使用するためのポイント

ミニ・キエーロモニター参加者の皆さんにおかれましては、以下のポイントを押さえてミニ・キエーロの使用を継続していただき、引き続き、生ごみ削減にご協力をお願いします。

- (1) 陽あたりが良いなど、できるだけ温かい場所にミニ・キエーロを置く。
- (2) ミニ・キエーロで分解されやすいものを中心に投入する。
分解されにくいものを投入する際は、分解されやすいものよりも細かく刻んだり、火を通したりする。
- (3) 分解できる量は、各家庭の設置状況や天候等に大きく左右されるため、投入量の調整を行う。
足りない場合は各家庭に合ったミニ・キエーロを作つてさらに生ごみの削減。
- (4) 土に穴を掘って生ごみを入れ、土とよく混ぜて、掘った土をかぶせる。
生ごみと土ができるだけ多く接することが、早期分解のコツ。
- (5) 分解が進まなければ、水分、油分を調整し、さらに土とよく混ぜる。
- (6) 深いところに埋め、上に乾いた土をかぶせることで、臭いや虫を防げる。



4 モニターの皆様の調査や自由研究について

夏休みの自由研究や様々な調査資料、写真等をたくさん送っていただきました！

ミニ・キエーロについて、たくさんの興味や関心をお寄せいただき本当にありがとうございます！

【モニター参加者からいただいた調査や自由研究等】

- ・ゆでた生ごみとそのままの生ごみの消える様子の変化を観察
- ・埋める土の深さによる分解の違いについての研究
- ・生ごみの種類による分解の違いについての研究
- ・投入した生ごみの種類によっての分解速度や状態についての研究 ...等